



VENTFORET KOFU HOME TOWN REPORT 2019

山梨の皆さまと共に…



CLUB MESSAGE

Jリーグは「百年構想」を掲げています。プロサッカークラブはタイトルを目指すだけでなく、ホームタウンをスポーツで豊かにする役目を担っています。

ヴァンフォーレ甲府は山梨県全27市町村がホームタウンであり、「ホームタウンの生活に深く根ざした、地域に新しい喜びをもたらすクラブ」を理念に、活動をしています。

地域交流活動では、地域の病院や施設の訪問、サッカー教室、大学との提携、小学校や幼稚園、保育園の巡回、地域イベントへの参加、国際交流、介護予防事業、エコ活動など…様々な活動を率先して行い、子どもたちの夢や希望、そして山梨県の更なる発展に貢献できるよう活動しております。こうした地域交流活動は年々増え、今では、チームのマスコットやアカデミーの活動も含めると年300回を超えるようになりました。Jリーグが毎年実施する「Jリーグ観戦者調査」のなかで「どうして観戦に来ましたか?」という質問に対して「チームが地域に貢献しているから」と答えた人はJ1・J2全チームの中で5年連続トップにもなりました。

またホームゲームでは、2週間に1回、地域の人たちがスタジアムに集まってチームを応援することによって一体感や郷土への愛着が生まれます。試合以外にも様々なイベントを展開し、来場者に楽しんでいただき、地域や家庭での会話がはずむようなコミュニティ作りができればと考えています。

Jクラブの価値とは何か。私たちは「地域に幸福をもたらす存在としての価値」ではないかと考えています。これからも地方都市の強みを活かした魅力ある個性的なクラブを作り、山梨の誇り、地域のシンボルとなれるよう邁進し、ヴァンフォーレ甲府を地域の重要無形文化財にしたいと考えています。

株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ
一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブ

概要

法人名	株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ
事業内容	①サッカークラブの運営 ②サッカー試合の開催、運営 ③その他クラブ運営に関する一切の業務 ④旅行業代理店
発足	1965年(甲府第一高OBを中心に甲府サッカークラブとして)
設立	1997年2月7日
資本金	3億6,700万円
株主	山日YBSグループ…9,120万円(24.8%) 山梨県…8,000万円(21.7%) 甲府市…4,000万円(10.8%) 韮崎市…2,000万円(5.4%) その他企業・団体…83企業 個人…266人
代表	代表取締役社長 藤原弘
法人名	一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブ
事業内容	①サッカーの普及・育成を図る活動 ②学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動 ③国際交流活動に関する事業
設立	2016年11月22日
代表	代表理事 海野 一幸

VENTFORET OUTLINE



チーム名の由来

「VENT(風)」「FORET(林)」というフランス語の組み合わせで「風のように疾く、ときには林のように静かに…」で知られる戦国時代の武将、武田信玄の旗印「風林火山」に基づきます。



エンブレム

チームカラーの青を基調にデザイン。山梨の豊かな自然の象徴として県花「フジザクラ」を上部に配し、ヴァン(風)フォーレ(林)のチーム名の由来である武田信玄の家紋・武田菱と、山梨の特産品であるぶどうをイメージしたワインレッドで表現。中央の「VFK」は、ヴァンフォーレ甲府の略語であるとともに「Vital Fighting Knights(生き生きと戦う気品ある勇士たち)」を意味します。

ヴァンフォーレ甲府クラブマスコット



ヴァンくん

山梨特有の日本犬で、国の天然記念物でもある「甲斐犬」がモチーフ。みんなから親しみやすく、覚えやすい名前であること、サポーターのみなさんからの応募数が一番多かったこと、そして「ヴァンフォーレ甲府」の頭の部分を取って命名されました。

フォーレちゃん

ヴァンくんと同じ「甲斐犬」をモチーフにしており、ピアノが得意な女の子です。山梨の名物である、ぶどうの葉をイメージした前髪が特徴です。ヴァンくんと一緒にチームを盛り上げます。



クラブの歴史

1965 (S40)

甲府第一高OBIによる鶴城クラブを母体として、日本サッカーリーグ(JSL)を目指す甲府サッカークラブが結成。

1967 (S42)

甲府サッカークラブとして関東リーグ入りを果たす。初年度は8チーム中4位と健闘。

1972 (S47)

第1回日本リーグ(2部)に参戦する。読売SCなど10クラブが参戦。

1993 (H05)

Jリーグ誕生・日本リーグ入れ替え戦で日本電装に2-1で勝利しリーグ残留を決める。

1995 (H07)

チーム名を「ヴァンフォーレ甲府」に改称する。



2007 (H19)

Jリーグ・ディビジョン1で17位となりJ2降格となる。

2010 (H22)

Jリーグ・ディビジョン2で2位となり2度目のJ1昇格。

2011 (H23)

J1定着を目指し、2度目のJ1(3年目)へ挑むも、1年でのJ2降格となる。

2012 (H24)

1年でのJ1復帰と24戦連続無敗でのJ2リーグ優勝を果たす。



すべては、山梨の皆さま(ホームタウン)と共に。

山梨県全市町村が、ヴァンフォーレ甲府のホームタウンです！

HOME TOWN



③ 韮崎中央公園クラブハウス

② 韮崎市【コーチ派遣】



① 八田河川敷グラウンド
【アカデミー拠点】



① 八田サッカースクール



④ 緑が丘サッカースクール



⑤ 選手寮



⑥ 小瀬サッカースクール



⑦ カメラリアサッカースクール
【コーチ派遣】



⑧ 玉穂サッカースクール



⑨ 小原サッカースクール



⑩ 三ツ峠サッカースクール



2019シーズン

太田修介	トップチーム選手	甲府市出身
小林岩魚	トップチーム選手	甲府市出身
矢崎和樹	トップチーム副務	甲府市出身
坂本武久	アカデミーGKコーチ	甲府市出身
石原克哉	アンバサダー	韮崎市出身
保坂不二夫	アカデミーアドバイザー 山梨県サッカー協会ユースディレクター	韮崎市出身
小澤亮介	U-15コーチ	韮崎市出身
石川龍	アカデミーコーチ	韮崎市出身
横森潔	地域コーディネーター	韮崎市出身

鶴田好樹	トップチーム主務	山梨市出身
雨宮清	アカデミーアドバイザー 一般社団法人ヴァンフォーレ甲府クラブ理事	山梨市出身
今津佑太	トップチーム選手	南アルプス市出身
大柴克友	U-15監督	北杜市出身
山下大輝	U-12コーチ	甲斐市出身
土橋優強	アカデミーコーチ	中央市出身
堀井岳也	U-18コーチ	昭和田出身
朝比奈茂	トップチームアシスタントレナー	富士河口湖町出身

ヴァンフォーレ甲府は、2005年7月よりホームタウン編成を「山梨県甲府市、韮崎市を中心とする13市町村」から「山梨県甲府市、韮崎市を中心とする全市町村」に広域化しました。

ホームタウンである市町村の皆様にとって「おらが町のクラブ」として自信を持って誇れる存在となるよう、さらなる絆を深め、いつまでも共に歩んでいく決意です。

ヴァンフォーレ甲府ホームタウン全27市町村の皆様、共に戦い、共に喜びましょう！

VENTFORET HISTORY

1997 (H09)

株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブを設立する。

1999 (H11)

Jリーグ・ディビジョン2に参戦するも最下位でシーズンを終了。

2000 (H12)

19連敗を含む26試合未勝利を記録するなど、2年連続最下位に終わり12月に存続の危機に直面。

2001 (H13)

1月主要株主のテコ入れで海野一幸社長(現会長)興水順雄常務(現エグゼクティブアドバイザー)らが会社再建に着手。

2005 (H17)

J1・J2入れ替え戦で、柏レイソルに2連勝し悲願のJ1昇格を決める。ホームタウンを甲府市、韮崎市を中心とする全市町村に変更する。

2014 (H26)

クラブ初の2年連続J1残留を目標に熾烈な残留争いを終盤まで演じ、2013年は15位、2014年は13位でフィニッシュ。

2015 (H27)

樋口新監督体制で臨むもシーズン序盤に低迷し、退任。佐久間GMが監督に就任後、奇跡のV字回復を見せ残留。2016年も同体制で4年連続J1残留を果たす。

2017 (H29)

吉田新監督体制で臨み最終節までもつれる残留争いを展開するも16位となりJ2降格となる。また、4月より一般社団法人「ヴァンフォーレスポーツクラブ」活動開始。

2018 (H30)

吉田体制継続で6年ぶりのJ2に臨むも過密日程なども重なり浮上の兆しを掴めず退任。新たに上野監督を招へいし一時は盛り返すもプレーオフ圏内に届かずJ1昇格はならず。

2019 (R1)

伊藤新体制で臨み、開幕8試合負けなしと良いスタートを切り、プレーオフ圏進出を目指し、最後まで戦う。

ホームタウンサンクスデー

HOME TOWN THANKS DAY

ホームゲームでは、試合ごとに担当市町村を決め、ホームタウンサンクスデーを開催しております。サンクスデーでは、住民の方をご招待したり、地域の伝統芸能をご披露いただく場を提供しています。ボールパーソン、フェアプレーフラッグ、エスコートキッズなど試合に関わる運営スタッフやイベントには、地元の子どもたちにご参加いただきます。また、場外ではPRブースの出店や、試合のキックオフ直前に特産品の贈呈セレモニーを行うなど、様々な方法で地域の魅力を伝えています。



試合会場では毎試合全市町村旗を掲揚しています。



エスコートキッズ
地元の園児や小学生が、選手と手をつないで入場します。キックオフ直前の緊迫したスタジアムの雰囲気を感じていただき、最後に記念撮影もします。



特産品の贈呈
キックオフ直前に両チームへ市町村の特産品を贈呈します。また、ビジターサポーターへも、特産品のプレゼントや観光パンフレットを配布してPRします。



フェアプレーフラッグ
地元の小学生が、フェアプレーの大切さをアピールするために、「フェアプレーフラッグ」を掲げ、試合前に入場します。



PRブース
場外のヴァンフォーレパークにブースを出店し、地元特産品の販売や観光PRを行います。



ボールパーソン
地元の中学生がプロの試合を間近で見ながら、スムーズな試合運営のお手伝いをします。



応援パフォーマンス
大勢のサポーターの前で、古くから伝わる郷土の伝統芸能やダンスなど幅広い応援パフォーマンスが披露されます。



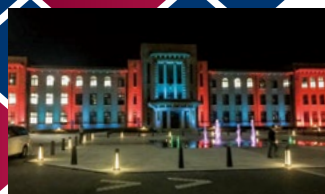
ご当地マスコット来場
地元をPRするマスコットや、対戦チームのマスコットが来場し、多くの来場者へPRするとともに、試合会場を盛り上げています。



特産品サンプリング
ビジターサポーターを中心に各ホームタウンの特産品などをプレゼントし、再び山梨県に観光に来て頂けるようにPRを行います。

様々なサポート…

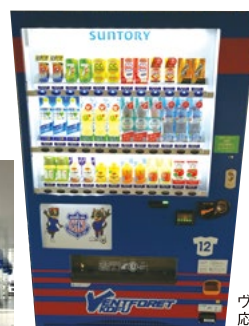
VARIOUS SUPPORTS



山梨県庁別館
ホームゲーム時
ライトアップ



甲府市役所案内板



ヴァンフォーレ甲府
応援支援自販機の設置



市町村の名刺に
ヴァンくんクラブを
応援しているという
メッセージを印字



ホームタウン
全27市町村による
市町村旗の掲揚に
参加した担当者一同

スタジアムで 生まれる感動

さまざまなイベントを通じて
子どもからお年寄りまで
笑顔が溢れるスタジアム!



ヴァンフォーレパークでは、焼きそばやたこ焼きなどの定番メニューをはじめ、ここでしか味わえないスタジアムグルメ、バラエティー豊かなグッズ販売、選手サイン会、そして様々なパフォーマーによるヴァンくんステージなど楽しいイベントが盛り沢山。

また、試合前には、応援パフォーマンスやスタジアム探検など、試合だけでなく、家族、仲間と一緒に楽しめる空間です。



ヴァンくんステージ

マスコットショーやゲストによる様々なパフォーマンス、トークショーなど試合前に熱く盛り上がっていただけます。またそのパワーを選手の応援に熱くぶつけていただきたいという願いが込められています。



キッズチャレンジマッチ

未来のJリーガーのために、試合をする直前のピッチを開放して、ホームタウンの子どもたちを対象に行っています。プロ顔負けのスーパープレーも飛び出し大いに盛り上がりです。今年は16試合32チーム約800人のキッズが憧れのピッチの上で思いっきりボールを追いかけました。



フェアプレー宣言

ピッチで戦う選手と同様に、スタジアムにいるすべてのサポーターがルールを守り、フェアに応援すること及びスポーツの力で差別・暴力のない世界を作り守っていくリスペクト精神をピッチの上で宣言します。



キャンペーン活動への協力

社会貢献活動をされる各種団体の啓発キャンペーンに協力をさせていただいております。試合前やハーフタイムの時間を利用して、啓発バナーで会場を周回したり、大型映像装置を利用して告知・啓発の協力をしています。



親子お仕事体験

試合に関わる仕事を親子で体験し仕事をする素晴らしさや親子の絆を深める機会として試合前の芝生補修をしていただいています。



主な啓発活動

- エイズ予防啓発運動
- 薬物乱用防止啓発運動
- 県警指名手配被疑者捜査強化月間告知協力
- 脳卒中予防啓発
- 山梨県赤十字血液センター献血啓発運動
- 交通事故防止県民運動
- 人権擁護啓発運動
- 赤い羽根共同募金
- 犯罪被害者等支援活動



AED救護ボランティアスタッフ

安心で安全なスタジアム運営を目的に、クラブ独自の取り組みとして、各スタンドにAEDを所持した救護ボランティアを配置しています。2016年3月に行われたホームゲームにおいて心肺停止となったお客様に対し人命救助を行い、一命を取り留めました。この取り組みに対し、Jリーグからの視察や、山梨県救急救命士会より表彰をしていただきました。



サポーターズスタッフ

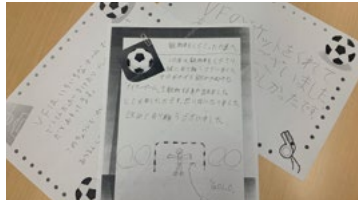
ヴァンフォーレ甲府のホームゲーム運営をサポートいただいているボランティアの方々には、チケットもぎりやイベントサポートなどを行っています。登録数は約120名、1試合約80名の方に、支えていただいています。

このほか、試合記録員、大型ビジョン操作補助、イベントサポート、会報発送など様々なお手伝いをいただいています。



選手会シート

ヴァンフォーレ甲府選手会では、ホームゲーム全試合の指定席を購入し地元の児童養護施設や福祉施設の皆様をご招待しています。ご招待した施設の職員の方や子どもたちから、たくさんの応援メッセージや絵をいただきました。



山梨県サッカー協会、甲府市役所サッカー部

スタジアムピッチ看板はすべて、山梨県サッカー協会、甲府市役所サッカー部の方々をはじめ、ボールパーソンや担架隊を務める地元の高校生や中学生が設営、撤収をしてくださっています。



義援金活動

東日本大震災や熊本地震災害、台風19号災害で被災された地域に対して、「絶対に忘れない」という強い決意のもと、スタジアムで募金活動を実施しています。今後も継続的に被災地復興支援に取り組んでいきます。



精神疾患を有する方、知的障がいを持った方

精神疾患を有する方々や知的障がいを持った方々の社会参加の機会として、試合前日の設営準備をサポートいただいています。こうした活動が社会参加の一助になればと考えています。



ヴィクトリーハイタッチ

ヴァンフォーレ甲府のホームゲームでは、クラブサポーター個人会員を対象に、ピッチ内アップに向かう当日の試合登録選手をハイタッチで激励出来るイベントを行っています。2019シーズンもたくさんの方にご応募いただき、選手達に笑顔と熱い気持ちをいただきました。



日本一のエコスタジアムへ!!

ヴァンフォーレ甲府は、認定NPO法人スペースふう、県内支援企業・団体の協力を得て2004年からエコスタジアムプロジェクトを始めました。スタジアムでの紙コップ使用をやめ、飲料購入時に100円上乗せして支払い、返却所で100円返金されるデポジット方式によるリユースカップを導入し、ごみ減量化やCO2削減に努めています。2006年からエコステーションを設置してごみの分別回収に取り組み、2007年からは一部リユース食器も導入しました。

2010年には「広がれ!小瀬エコスタジアムプロジェクト実行委員会」が立ち上がり、会場にエコブースを開設し環境問題の啓発活動を進めています。

また、2018年から日本財団、NPO法人海さくらと共同で試合終了後にスタジアム周辺でのゴミ拾い活動を行う「LEADS TO THE OCEAN 海につづくプロジェクト」を実施しています。



LEADS TO THE OCEAN 海につづくプロジェクト



スタジアムに毎試合エコステーションを開設し、リユース食器やごみの分別回収を推進しています。



エコブースではエコ体験や環境啓発活動を行いました。

エコスタジアムプロジェクト



大型ビジョンで毎試合CO2削減の成果を報告するほか、横断幕を掲げピッチを回って協力を呼び掛けています。

ヴァンフォーレ甲府の地域貢献活動

ヴァンくん体操



クラブマスコット ヴァンくん・フォーレちゃんが地域の幼稚園・保育園を巡回しています。「ヴァンくん体操」は地域の専門指導者が子どもの体の発育・発達を促すために考案した体操です。ヴァンくん・フォーレちゃんと一緒に「ヴァンくん体操」を踊ることで、自然と楽しく体を動かし、子どもたちの成長の一助とします。さらに、ヴァンフォーレオリジナル紙芝居で、子どもたちと絵を通じてコミュニケーションを取っています。

お絵かきコンテスト



生活協同組合パルシステム山梨との共催で、「ヴァンフォーレスポーツお絵かきコンテスト」を実施しています。

小学生以下を対象に、サッカーに限らずスポーツを題材に絵をかいてもらい、2019年度は、1345通の作品が集まり、ホームゲームで展示しました。

支援学校訪問



知的障がいや肢体不自由など、ハンデキャップを背負った子どもたちと交流会を開き、体を動かすことの楽しさを伝えます。また、交流会の一部を選手自身が企画・運営し子どもたちとふれあう時間を設けています。

病院訪問



病気で入院している子どもたちに少しでも元気や勇気を与えられるよう、地域の病院を訪問し、交流会を開いています。交流会は、プレイルームで開き、選手への質問コーナーをつくったり、選手がボールリフティングを披露します。プレイルームへ出てこれない子どもたちのためにも、マスコットや選手が直接病室を回り、ヴァンフォーレグッズなどをプレゼントして交流を深めています。

ヴァンタスフェスティバル (一社)ヴァンフォーレスポーツクラブ共催

ヴァンタスフェスティバルのヴァンタスとはヴァンフォーレ甲府として積極的に取り組んできた食育推進活動に体育・徳育・知育を含めたプログラムです。

このフェスティバルではサッカーだけではなく、『身近な田舎山梨』の特色を生かした「自然体験」、「農業体験」を経験していただき、色々な感性を養ってほしいという思いもあります。

またサッカーを通して他県の選手との交流、サッカー仲間を全国各地に広めてほしいという狙いもあります。



スタジアム建設に向けて

2014年、フットボール専用の総合球場の建設に向けて、ホームゲームなどに署名活動を行い10万人近い署名が集まり県に提出したことがきっかけとなり、総合球場の検討が本格的に始まりました。

県は有識者10名からなる「総合球場検討委員会」を発足し、球場の機能・規模、建設場所、建設時期等を審議し、甲府市・県当局に提言しました。

県はこれを受けて、2017年7月に小瀬スポーツ公園南側への建設が適当であると表明するとともに、再度有識者による総合球場基本計画検討委員会を立ち上げ基本計画の策定を行い、2019年3月県へ報告書が提出されました。

県は、この報告書に基づいて広く県民から意見を募集、また各地で県民を対象にした説明会を実施しました。

ヴァンフォーレ甲府では、総合球場早期建設に向け、スポーツ団体、経済団体とともに250を超える組織・団体からの要望書を県に2019年5月15日に提出しました。

また、試合会場では、「夢見る総合球場」ブースを設け、総合球場建設に向けた機運醸成を行っています。



総合球場 県民説明会が終了
建設可否 知事最終判断へ

県民説明会が終了し、知事最終判断へ向けて議論が続いている。県民の意見が反映されるよう努める。県民説明会が終了し、知事最終判断へ向けて議論が続いている。県民の意見が反映されるよう努める。



総合球場 258 団体要望
長崎知事「早期に結論」

長崎知事は、総合球場の早期建設を望む。県民の意見が反映されるよう努める。県民説明会が終了し、知事最終判断へ向けて議論が続いている。県民の意見が反映されるよう努める。



地元大学との業務提携

山梨学院大学

2009年2月、ヴァンフォーレ甲府と山梨学院大学は、相互の発展および地域社会貢献活動を目的に業務提携をしました。サッカー競技者および指導者の育成をはじめ、食育、教育、環境（エコ）等の文化・社会的な活動にも取り組んでいます。

また、研修の一環として山梨学院大学と集客企画連携イベントなどを行っていただいています。



山梨大学

山梨大学とは2009年11月、医学部グラウンドを使い、スポーツ振興と地域貢献を図る旨の覚書を結びました。

ヴァンフォーレ甲府がグラウンドを芝生化し、グラウンド管理棟を建て大学側に寄贈。これを受け、トップチームの練習場として使用しています。



山梨県との包括連携協定

2017年3月、山梨県と株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブは、山梨県の地域振興及びサッカーを通じたスポーツ振興に資するため、包括連携協定を締結しました。

本協定により、山梨中銀スタジアムで行われる各試合において、県PRブースの出店、大型ビジョンによる県施策の告知を行う他、県が主催する各種イベントにヴァンくんやフォーレちゃんを派遣しています。



一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブ

VENTFORET SPORTS CLUB

ヴァンフォーレ甲府をより強化する中長期計画の一環として一般社団法人「ヴァンフォーレスポーツクラブ」を2017年度から立ち上げスクールや普及活動、さらには他のスポーツを取り入れた県民の健康づくりなどの活動を行い、「総合型地域スポーツクラブ」として、事業展開しています。

ヴァンフォーレ甲府はこれまでの流れを見ると経営危機から再建できたことが第一ステップ、第二ステップはJ1に昇格で飛躍してきましたが、第三のステップアップに向けた次の一手として団体の設立・活動をしています。

2017年からスクール部門と普及活動を株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブから移行して拡充を図り、今後はU-12、U-15を移行、最終的にはU-18とアカデミー全体を移行させ、トップチームに地元選手を送り込めるような育成組織に充実させる計画です。

サッカー以外の他のスポーツを取り入れ、「アジリティ&ラン」というランニング教室やヨガの教室を展開しているとともに、地域貢献活動や国際貢献活動も積極的に展開しています。

また、食育、指導方法、コンディショニングなどの「講習会」。ランニング、駅伝、ラグビー、サイクリングなど他のスポーツとの「交流やイベント」。キッズ教室、小学校などに選手、コーチが訪問する「巡回教室」。海外の子どもたちとのホームステイ、交流試合、指導者派遣、指導者受け入れなどの「国際交流」。等々の活動を拡大していき「総合型地域スポーツクラブ」を目指していきます。

ヨガの時間



健康をサポートすることを目的に平日の夕方やホームゲーム開催時に月2回のペースで中学生以上の方を対象に「ヨガの時間」を開催しています。

ハードな体幹トレーニングのようなパフォーマンスアップが目的ではなく、自分の身体と向き合いながら、それぞれのテンポで身体を動かし身体の柔軟性をアップさせたり、心身のリラクゼーションを目的としています。参加費は500円/1回で、お子様連れでもクラブスタッフが対応するので安心、気軽に参加出来ることも特徴です。

アジリティ&ラン



トップチームのフィジカルコーチを中心に専門的な角度から走る基本動作を習得する事業です。アジリティでは、身体をもっと素早く動かし、自分が持っている力を最大限に発揮するために敏捷性を高める身体の使い方や素早い方向転換ができるように、タニラダーを使ったエクササイズを行い、ランでは走るのが遅い、もっと速く走りたいという子を対象にスピードアップのために必要なランニングフォームから改善していきます。

サッカースクール



ヴァンフォーレサッカースクールは、県内6会場で年中～小学6年生、女子を対象に「明るく、楽しく、元気良く!!」を合言葉に活動しています。2004年に開校されたサッカースクールでは現在、約590名のスクール生が、楽しくサッカーを学んでいます。

経験豊富なコーチ陣がサッカーを通して、身体を動かす事の楽しさ、サッカーの技術や戦術はもちろん、社会に出て通用する人間性を養うことも大切にしながら活動しています。

ヴァンフォーレ山の都駅伝

一般社団法人甲府青年会議所と共催で幼児～小学6年生までの子どもたちを対象とし、幼児・児童の健やかな成長と、地域スポーツの振興に寄与すること、参加する子どもたちの友情の輪を広げ、健康増進と体力の向上を図ると共に、生涯スポーツの普及を目指しヴァンフォーレ甲府のホームスタジアム「山梨中銀スタジアム」を中心とした園内で実施致しました。

運動経験が豊富な子どもだけでなく、運動が苦手な子どもでも気軽に参加できるようにと走行距離を短く設定し2019年は85チーム425人の参加をいただき大会を実施いたしました。



甲府市ランクリニック

ホームタウン甲府市の甲府スポーツ推進計画目標にある「子ども運動 機会の充実」への協力として、TOPチームフィジカルコーチ、アカデミーコーチが市内の小中学校を訪問し、子どもたちに速く走るという運動の基本動作を楽しみながら伝え、スポーツの枠を越えて様々なスポーツの楽しさと素晴らしさを伝えることを目的にランクリニックを実施いたしました。



「ヴァンタス実育山梨」は、ヴァンフォーレ甲府が取り組む食育・体育・知育・徳育の活動を総称して名付けたプログラムです。

この活動は、ヴァンフォーレ甲府オフィシャルスポンサー企業や各ホームタウンとの間で教育的な観点を意識して展開するものであり、地域や家族の絆づくり、また、実りある人を育み「つよく いきる」子どもを育て、「やさしく くらす」ことのできる山梨県の地域活性化に寄与することを目的として活動しております。

小学校巡回スポーツ教室



小学校の体育の授業を対象とした巡回スポーツ教室では、「スポーツの楽しさ」や「スポーツによる教育的側面」などを十分に意識した活動です。

ヴァンフォーレ甲府の専属コーチが小学校の授業で講師を務めスポーツの楽しさや生涯にわたって身体を動かすことの素地を養います。また集団で活動する中で「思いやり、協調、尊重」などの大切さを伝えています。



ヴァンフォーレ夢のチカラ



ホームタウン活動の一環として、ヴァンフォーレ甲府の選手が小学校を訪問し、児童とのふれあい活動を通じて、ホームタウンの子どもたちの夢を育み、健全育成に寄与することを目的とします。また選手がこの活動を通じて、社会貢献活動への理解を深めるとともに、地域に根差したクラブづくりを推進し、地域に親しまれ、愛されるクラブづくりを目指すことを目的とし選手が自らの小学校時代を振り返りながら、プロサッカー選手という職業を目指したきっかけ、苦労したことやつらかったこと、目標を成し遂げるために大切なこと、心構え、日常生活の過ごし方、支援者の感謝などを子どもたちに伝えます。



ヴァンフォーレご飯のチカラ



プロスポーツ選手が「アスリートの食事」というテーマのもとに「食の大切さ」を伝えます。授業では児童全員で身体を動かし運動が心身の健康に繋がると同時に食欲を向上させ、しっかりとした食事をすることが活力のある生活を生み出すことを体感してもらいます。

また、座学では選手自身の経験談を交え好き嫌いをせずバランスの良い食事をすることが大切なことを伝えています。



ヴァンフォーレ仕事図鑑



学校側の希望するテーマに沿ったOB選手、クラブスタッフが学校を訪問し、職業に関する話を行うことで仕事を知り、児童の職業観や勤労観を養う。特にプロサッカー選手を終え、セカンドキャリアに進んだOB選手たちがプロサッカー選手時代から現在の仕事に就くまでを語る機会では、選手を引退したからこそ見える、感じる社会の厳しさ。その中で、過去に得たもの、これから必要なものを経験談と共に子どもたちに話すことで「自分自身の振り返り」「夢、目標を持つことの大切さ」「ただ何となく過ごすことの勿体なさ」を知るきっかけ作りを目的としています。



国際交流活動

2015年、ヴァンフォーレ甲府とオフィシャルスポンサーの株式会社日建は国際交流事業でパートナーシップを結び、おもにASEAN諸国で人材やスポーツの交流を進めていく構想を発表しました。同年2月にラオスでサッカー教室を行ったことを皮切りに同年6月には、新たにオフィシャルスポンサーの株式会社はくばくもカンボジアでの農業開発支援という形で加わり3社で2016年2017年、2019年にカンボジア・バタンバン州にてサッカー教室を開催いたしました。

また、カタール、韓国、スペインなどのアカデミー海外遠征を企画運営し、山梨県のPRやスポンサー企業の販路拡大協力などを行いました。



ふれあいサッカー教室

地域スポーツ振興活動の一環として、グラウンド協力をいただいている山梨大学と共催で「ヴァンフォーレふれあいサッカー教室」を開催しています。発達に障がいを抱えている子どもや発達のゆっくりな子どもたちを対象に、サッカー教室を通じ、スポーツの楽しさを味わうとともに、「できる」事の喜びや何事にも諦めずに挑戦することの大切さを伝えています。



ヴァンフォーレ×はくばくパートナーカップ

クラブとはくばく、小澤こころのクリニックが主催し精神疾患を有する方々の社会参加を促進するとともに、スポーツ振興と保健福祉の普及・啓蒙を図り、スポーツを通じて人とのつながりを築き、心身の健康を増進させる穀物への正しい知識を提供する。また、継続的に開催することで参加者の心身共に健康増進へ貢献することを目的に実施し県内外から多数のチームにご参加いただいています。



ブラインドサッカー

山梨県人権啓発活動ネットワーク協議会（法務局、県、甲府市、人権擁護委員連合会）から人権ユニバーサル事業（障がい者等の権利課題をテーマとした人権啓発事業）の委託を受け、障がいのある人への理解を深める機会として、ブラインドサッカー体験教室を行いました。

県内のブラインドサッカーチーム、山梨キッカーズ協力のもと、プレーの方法等を説明いただき、試合の体験を行いました。

また、アカデミーコーチによる通常のサッカー（ミニゲーム・トレーニング等）も併せて行い、ブラインドサッカーとの違いや共通点等を学びました。



シニアわくわく健康運動教室

地域の人たちが、介護を必要としない健康なお年寄りになっていただくため、各会場で運動し、健康づくりや仲間づくりを推進すべく、2007年度から「ヴァンフォーレ甲府シニアわくわく健康運動教室」と題し、ボールを使った運動を中心に、様々なプログラムに取り組んでいます。

各自治体からも協力をいただき、クラブと自治体（ホームタウン）が一体となって、地域住民の生活に新しい喜びをもたらすことができるよう取り組んでいます。

2019年 会場一覧

会場	実施日	会場	実施日
石和清流公園芝生広場 笛吹市(2008年～)	10月 1日	山梨大学医学部G 中央市(2010年～)	10月31日
	10月 8日		11月 5日
	10月15日		11月14日
	10月22日		11月21日
	10月29日		11月28日
島上条公園多目的コート 甲斐市(2009年～)	9月18日		
	9月25日		
	10月 9日		
	10月16日		
	10月23日		



日本サッカー協会「モデルFA」

JFA MODEL FA

ヴァンフォーレ甲府では山梨県サッカー協会(YFA)と日本サッカー協会(JFA)との協働を図り、山梨県内における新たな育成システムの確立に努めています。

JFAユースディベロップメント体制の「モデルFA」とは？

日本サッカー協会(JFA)・Jリーグ・各地域協会(FA)との指導体制の共有化を図ることが実現でき、日本サッカー協会が掲げる「JAPAN'S WAY」の実現に向けオール・ジャパンの体制を構築できる可能性に繋がる取り組みです。

トレセン活動・指導者養成

「日本サッカーの強化・発展のため、将来日本代表選手となる優秀な素材を発掘し、良い環境・良い指導を与えること」を目的に始まったトレセン活動。山梨県においては、保坂不二夫アカデミーアドバイザーが山梨県ユースダイレクター及び、JFAインストラクター(関東サブダイレクター)に就任、その他にも各年代にアカデミーコーチを派遣し更なる発展を目指し活動しています。



L&Gハッピーサッカー教室



L&Gはレディース&ガールズの略称、山梨県内の女子(女性)のスポーツの普及、サッカーの普及を目指し、フェスティバルを開催しています。

キッズサッカーフェスティバル



山梨県内6地域で開催しています。各地域の園児(年少)～小学校3年生の子どもたちを対象にしたサッカー教室です。サッカー経験を通してスポーツの楽しさを伝えるとともに、仲間づくりや子どもたちのコミュニケーション育成の場として各会場で楽しいフェスティバルが開催されています。

JFAフットボールデー in YAMANASHI



山梨県サッカー協会と共催し、幼児からシニアまで幅広い世代を対象にしたフェスティバルを開催しています。サッカーやスポーツの楽しさを味わってもらい、生涯にわたってスポーツに親しむことができる基礎づくりや、スポーツを通しての心の育成を図ります。

キッズ巡回サッカー教室



山梨県内の幼稚園・保育園を巡回してサッカー教室を行っています。サッカーを入口にして、子どもたちが様々なスポーツに取り組めるようなきっかけづくりをしています。体を動かすことの楽しさや爽快感を伝え、積極的に外で体を動かして遊べるような楽しい時間を提供しています。年間約100園を巡回しています。



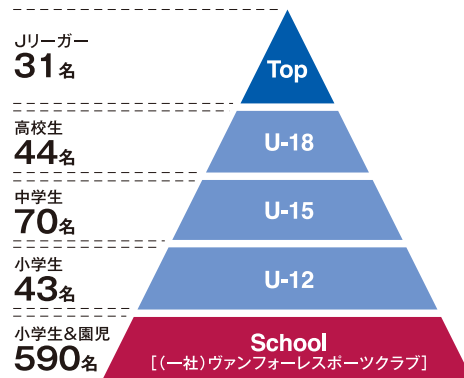
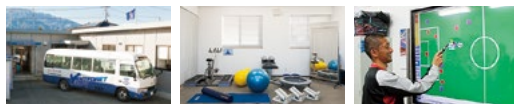
地域で育てる子どもたち

ヴァンフォーレ甲府のアカデミー(育成組織)は、普及部門として園児(年中・年長)、小学1~6年生によるサッカースクール、育成部門として小学生によるU-12チーム、中学生によるU-15チーム、高校生によるU-18チームで構成されます。各カテゴリーにおいて、子どもの成長過程に合った指導を行い、トップチームを頂点に見据えた、一貫指導体制を敷いています。さらには、ここ山梨から世界で活躍する選手を輩出できるように努めています。



八田河川敷グラウンド・クラブハウス

南アルプス市にあるU-18・U-15・U-12・サッカースクールが使用しているグラウンド。照明施設・ネット完備の一面人工芝グラウンドで、2008年春に完成しました。



2019年 主な成績

- U-18 第43回 日本クラブユースサッカー選手権(U-18)関東大会 決勝トーナメント進出
- U-12 ダノンネーションズカップ2019inJAPAN 優勝 日本代表として世界大会出場

- U-15 2019高円宮杯 第31回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 山梨県大会 優勝

キトーグループは、世界の各地域・あらゆる産業で活躍しています。



重力がある限り必要とされるホイス・クレーンの活躍シーン



PEERLESS INDUSTRIAL GROUP, INC (アメリカ)

子どもたちを支援する「Feed the Kids」の活動に参加。「ピアレス・チャリティ・デイ」を設け、募金活動を行いました。集められた寄付金で子どもたちに美味しい給食が届けられました。

SIAM KITO CO., LTD. (タイ)

会社から250キロ離れた孤児院を訪問。おもちゃ、衣服、生活必需品などを寄付し、料理をふるまい、一緒に食事もしました。共に時間を過ごす中で、子どもたちはたくさんの笑顔を見せてくれました。



KITO CORPORATION (日本)

環境保全活動の一つとして、富士山麓の外来植物駆除を実施。社員とその家族73名が参加し、生態系に悪影響を及ぼす「アレチウリ」や「オオブタクサ」を抜き取り、トラックの荷台がいっぱいになるほど回収しました。

KITO

株式会社キトー 本社工場

〒409-3853

山梨県中巨摩郡昭和町築地新居2000

TEL.055-275-7521

URL.<https://kito.com/jp>

がんばれ! ヴァンフォーレ甲府

キトーは『地域社会に貢献する』という同じ理念を持つ、
ヴァンフォーレ甲府を応援しています。

2019 VENTFORET KOFU OFFICIAL SPONSORS

スポンサーの皆さまのご支援に心から感謝申し上げます

ユニフォーム



練習着



東京エレクトロニクス テクノロジーソリューションズ



地域交流ウェア

ユニフォームサプライヤー



ドリンクサプライヤー



ビジョン



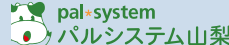
チケッティングパートナー



グッズパートナー



パルシステムロード



地域パートナー

明治安田生命 甲府支店

フェアプレー



ピッチ看板

浅川熱処理
アドブレン社
アポーグループ
アポーメンテナンス
アルス
アルプスワイン
印傳屋 上原勇七
エステイキ
オギノ
甲斐日産自動車
キト
金精軒製菓
グローバルハウス
コイケ
小泉

甲府記念日ホテル
甲府キンタイサービス
甲府警備保障
甲府商工会議所
甲府信用金庫
甲府ビルサービス
KOKUSAI-GROUP
甲州リハビリテーショングループ
坂本運建
サニカ
サンキムラヤ
サンニチ印刷
山日YBSグループ
JAグループ山梨
シミスオクト

清水建設
清水工業
スブランドホテル内藤
住友電工デバイス・イノベーション
生活協同組合パルシステム山梨
セコム山梨
セブーン・イレブン・ジャパン
タカギ
タンザワ
都留信用組合
帝京科学大学
DCMくらがねや
テレビ山梨
ドコモCS 山梨支店
内藤ハウス

日医工山梨グループ
日建
日産プリンス山梨販売
日本軽金属
日本公認会計士協会東京会山梨県会
日本ネットワークサービス
ネオシステム
ネットヨタ甲斐
萩原ボーリング
早野組
富国生命保険相互会社
富士観光開発
ベルクラシック
ホテル鐘山苑
山伸マテリアル

ヤマト運輸 山梨主管支店
山梨ガーデン
山梨学院大学
山梨交通
山梨信用金庫
山梨中央銀行
山梨日日新聞社
山梨放送
リコージャパン
梨北農業協同組合
YSKE-com
ワイ・シー・シー
YBST&L

ベンチ広告

ダイタ
横浜家系ラーメン大黒家
山梨中央銀行

担架広告

甲府脳神経外科医院
日医工山梨グループ

アカデミー

キッツ

砂場保護シート

天鳥 桂精機製作所 三折建設

ヴァンくん

アシストエンジニアリング

バックスタンドバナー

ウインズ石和 武田広告社 日本ネットワークサービス バイオニア・マイクロ・テクノロジー PHメンテナンス

応援定期預金

甲府信用金庫 都留信用組合

ベンチ前看板

シブス にこにこクリニックでら小児科 ニュー平和グループ フジオ

第4の審判ベンチ広告

いちやまマート

HPバナー

クア・アンド・ホテル

ベンチ内側

ここの整形外科

カート看板

クレバースタジオ スブランドホテル内藤

サポーターズスタッフ ピブス

ラボ・テック

担架隊 ピブス

ことぶき整形外科

ボールパーソン ピブス

ゼロ

メインスタンドバナー

勝沼醸造 協和エクスシオ 神州一味噌 So-net 武田広告社 ナカゴミ建設

メインスタンドコンコースバナー

ウイングファット 甲府セントラル通商 中央歯科医院
うえだグループ 近藤ニット 山梨日野自動車
NTT東日本 サンライズ
空海 センペロ

ボール台

角屋ハウジング

エコパートナー

はくばく 田丸 山梨信用金庫

メインスタンド最前列バナー

グリッター 日本連合警備 ニューロン製菓 三井住友海上山梨支店
三ツ輪産業

その他のスポンサー

長田不動産管理
こうふ開府500年実行委員会
ココフーズ
武田食品
日清オイログループ
濱商
水口慎一・美津
モグラハウス
山梨県交通安全協会
山梨県法人会連合会
らーめん食堂れんげ

サポートカンパニー

アウゲン田辺眼科
燧屋
石和健康ランド
小川歯科医院
奥湯村温泉紅椿の湯
グルービー
甲府ビルサービス
小松電工
桜湯
シルクふれんどりい
スブランドホテル内藤
美容室ZELE
ブルーアース
古屋法律会計事務所
ホテル神の湯温泉
丸十山梨製パン
薬石の湯 瑰泉
湯めみの丘
カシマ製作所

フェンス横断幕

アーク甲府店
アーバングリーン八田
燈屋
あさひ警備保障
アップル車検
アドヴォネクスト
アマノ樹工
アルプス
イオンモール甲府昭和
今井整形外科医院
英雅堂グループ
エクステリア中川
エヌディエス
L.O.Dクリエイション
オオキ
大久保呼吸器内科クリニック
王子製紙
オーナメント依田
大森畜産
小澤こころのクリニック
角市
元旦ビューティ工業
救心製菓
旭陽電気
貞川整形外科病院

くつま整形外科医院
クリーニングすわん
K-ばっか
ケイビワイ
健康科学大学
甲州ほうとう小作
甲府駅ビル セレオ甲府
甲陽建機リース
古名屋ホテル
五味新聞店(甲府)
米福
近藤モーターズ
コントラクト・ロジスティクス・フクシマ
ササキ
佐藤渡辺
サントリー・酒類
幸せの丘ありあんず
正直堂
鈴健興業
中央葡萄酒
鶴田電気
テクノ工業
デリシャス通り
東京ガス山梨
東住機器販売

Doctor Jewelry
トヨタレンタリース山梨
中島鶏卵市場
中村製作所
西鉄旅行
日産山梨会
ニッセー
日本製紙
日本通運山梨支店
ニュースコム
藤崎本町運送
ネットアーキテクチャ・コーポレーション
登り坂石油
パイの家エムワン
疾測量
芙蓉建設
笛吹農業協同組合
福島運輸
富士急行
藤二誠
藤精機
プリリアント
フルーツ山梨農業協同組合
文化シャッター山梨販売
ホンダカーズ山梨

マックスバリュ東海
マルモ
ミサワホーム甲信
ミヨシグループ
メイコー
望月クリニック
やきまる
矢崎耳鼻咽喉科医院
山梨貨物自動車
山梨県建設業協会
山梨CATV
山梨ジャパンパトロール警備
山梨スズキ販売
山梨タイハツ販売
山梨中央広告社
山梨トヨタ自動車
山梨トヨベツ
山本基礎工業
ユウシステム
ユニー(アビタ)
ユニフルーティージャパン
湯村自動車学校
ヨコハマタイヤジャパン山梨カンパニー
竜王新聞センターOkada
ワインクラブ

